

2 最近3年間の主な活動

※「1 応募者概要」の「環境に関する主な活動内容」について、最近3年間の主な活動内容を記入してください。

	活動・取組・イベント等の名称 発行した印刷物等の名称	参加人数、 発行部数等	詳細内容
令和元年度	○生徒による養蜂活動	週1回	<p>○南中学校生徒による養蜂活動の実施（毎週土曜日活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大岡小学校児童、弘明寺商店街との交流をはじめとした地域との方々との交流活動を展開 <p>○beeぐみの活動について知ってもらうイベントの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報よこはま南区版4月号に掲載（資料1） ・平成最後のハチミツ採蜜活動（資料2） <p>○地域の商店街におけるイベントの実施（ハチミツの試食と環境づくりのPR）</p> <p>○地域の商店におけるハチミツの販売の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元産の収穫物を通した、地域の環境の豊かさの発信〈単年度〉（資料3） <p>○リーフレット等を活用した情報発信の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各イベント、ポスターやリーフレット等を活用した ・地域向けイベント（資料4, 5） ・大岡地区収穫祭への出店（資料6） ・ミツバチがハチミツを集める具体的な「半径2km」という距離を知ってもらい、身近な自然環境の良さや保全に興味を、地域の皆さんに持っていただけるような意図をもって、リーフレットを作成した。また、生徒の通う学校の英語の教諭のご協力により、英訳について生徒が調べ、英語版リーフレットを活用した。弘明寺近隣には留学生会館等もあり、外国人の方々が関心を持たれることもあったため作成した。（資料7.8）
	○商店街イベント	約200名	
	○養蜂体験会	20名程度	
	○地域の商店と協力した蜂蜜の販売	約100名	
	○地域環境についての発信	約300部	
令和2年度	○生徒による養蜂活動	週1回	<p>○市内高等学校生徒（正式メンバー）による養蜂活動（毎週土曜日活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言下では活動は中止。 ・それ以外の期間については、養蜂活動のみ継続。 ・養蜂活動については、令和元年度に同じ。 <p>○希望者の見学、養蜂体験の受け入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童、生徒への学びの場の提供 ・地域の商店街における、ハチミツの試食イベントについては中止中 <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により、活動縮小</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季刊誌「横濱」N0.72 横浜の底力64 掲載（山崎洋子氏 文）で活動が紹介された。
	○地域の方々との交流活動	20名程度	
	○活動掲載紙		

	○出張活動	2回	○弘明寺以外の地域に出張しての活動紹介（資料9） ・本牧山頂公園におけるミツバチをテーマにしたワークショップで活動を紹介 ・十日市場におけるエリアマネジメントの一環としての採蜜イベントで活動を紹介
令和3年度	○養蜂活動	週1回	○市内高等学校生徒（正式メンバー）による養蜂活動（毎週土曜日活動） ・緊急事態宣言下では活動は中止。 ・それ以外の期間については、養蜂活動のみ継続。 ・養蜂活動については、令和元年度に同じ。（資料10、11）
	○地域の方々との交流活動	フォロワー310名	○新型コロナウイルス感染症対策 ・地域の商店街における、ハチミツの試食イベントについては中止中 ・希望者の見学、養蜂体験の受け入れ ・児童、生徒への学びの場の提供 ○ホームページ・Instagramなどによる情報発信 ・Instagramでは、桜の時期に合わせて、桜の花にとまるミツバチの様子や、蜜を持ち帰るミツバチの様子を静止画や動画で発信した。 ・今年度4月に、フォロワーが200名を超え、現在310名まで増えている。直接的なコミュニケーションがあるわけではないが、市内市外、国内、国外の養蜂家やハチミツファンと、つながりを持つことができている。 ・LINEスタンプ作成 生徒や保護者参加型でクリエイターズスタンプ作成 「Beeぐみプロジェクト」※収益化はしない・試作段階
	○情報発信		

※ 現在活動休止中の場合でも、今後継続して取り組む見込みがある場合は応募の対象とします。

3 地域との関わり

	活動・取組等の名称	詳細内容
学内の生徒等や教員、保護者との関わり	はちブンブンプロジェクト (H29)	・大岡小学校における総合的な学習の時間の取組として、校舎屋上で養蜂活動を行い、学校内外にミツバチの生態の面白さや地域の自然環境の豊かさを伝えた。
	Beeぐみプロジェクト	・パンフレット（英語版）作成における、生徒所属先中学校教諭との関わり
自治会・町内会との関わり	はちブンブンプロジェクト (H29)	・学校で養蜂を行うことについての相談や協力依頼のため、連合町内会の会合に当時の6年生が参加した ・地域の方を小学校に招いて、養蜂見学や蜂蜜の試食を通して、ともに地域の自然環境について考える会を開催した

	Bee ぐみプロジェクト (H30～)	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街での蜂蜜活用について提案 ・弘明寺商店街組合の方々との関わり・イベント開催時には、場所の提供補助を快く行っていただいた。
学外団体との関わり	元大岡地区収穫祭	<ul style="list-style-type: none"> ・元大岡地区青少年指導員が主催する地区収穫祭でのブース出店 ・千葉大学の調査研究への協力 (令和元年夏～秋)
企業等との関わり	ビルの屋上での養蜂活動	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社泰有社の目指す「新しいコミュニティ」づくりの一環として、GM2 ビルの屋上を活用させていただいている。
行政との関わり	<p>広報「よこはま」南区版への掲載</p> <p>季刊誌「横濱」での紹介</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・南区役所区政推進課 市内における養蜂活動の魅力を発信していただき、横浜市の実環境の魅力について、読者に伝えることができた。 ・市民局広報課 季刊誌「横濱」72号での紹介
その他、環境以外の分野との関わり	<p>まちづくり</p> <p>学びの場として</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・弘明寺商店街 みつばち・蜂蜜を通して、人と人が出会ったり、語らったりする場の創出 ・大岡小学校・六ツ川小学校児童・地域の方 どのような年代も問わず、幼児からシニアまでの学びの場の提供

4 団体の発足経緯、活動を始めたきっかけ

※立ち上げた主体、どのようにして活動に携わる人が増えてきたのか等も合わせ、具体的に記入してください。

- ・本プロジェクトは、2017年度に、大岡小学校第6学年3組の総合的な学習の時間の取組みとして始まった。
- ・その際は、学校の屋上での養蜂活動を行った。
- ・採集した蜂蜜や地域の花・植物の環境について、地域の方々への発信活動を行った。
- ・6学年児童の卒業前の話し合いで、養蜂の継続について検討した。
- ・養蜂活動を支援してくださっている、Hama Boom Boom! (ハマブンブン) や、地域の泰有社のご支援のもと、活動場所を地域へ移した。
- ・元々は、1クラス35名で養蜂を行ったため、「人が増えた」というわけではない。しかし、小学校卒業から、4年目を迎える現在も、当時の学級の子もだけでなく、広がりつつ、継続して高校生が主体となり活動が推進されている。

※Bee ぐみプロジェクトという名前には、

「bee」=ミツバチ

「ぐみ」=弘明寺・6年3組(ぐみ)から始まった生徒の活動

また、「びーぐみ」という響きには、某テレビドラマの「3年B組」を連想させ、ドラマのある学級集団のようなイメージ

という複数の意味を込めています。

5 今までの活動

活動の目標・ねらいに対する成果

地域の自然環境の豊かさや、地域に蜜蜂が暮らしていることの面白さに関して、平成30年度、令和元年度に関しては地域の方々からの直接的なリアクションを得ることができ、その中でも、身近な地域に蜜蜂がいることや、蜂蜜が採集されていることについては、驚きをもって受け止められることが多かった。また、自宅に蜜蜂が飛来していることについて、イベントに来た際にお話しくださる地域の方もいらっしゃった。当時、直性お話しいただいた声からすると、以下の点で、効果が生まれ始めていたと考えられる。

〈まちづくり1〉地域の環境に対する意識づくり

- ・ 蜜蜂が、数十キロの環境を集められるような、環境であること。
- ・ 住宅街であっても、多様な生き物がかかわりあって生きていること。

〈まちづくり2〉面白いことでつながれる機会づくり

- ・ はちみつを味わったり、養蜂体験をしたりしながら、同じ地域に住む人同士が関われる場をつくっていること。

〈まちづくり3〉生涯教育の場としてのまちづくり

- ・ 学校では学べないことを体験的に学べる場
- ・ 異年齢どうしの関わりがある、コミュニケーションの場

生物多様性に関する取組（生物多様性特別賞の選考の参考とします）

○ミツバチ飼育活動を通じた生物多様性の普及啓発

- ・ 養蜂活動時や、養蜂体験会では、周囲の自然環境を眺めていただくなどし、ミツバチや植物など生き物のつながりについての理解を深めた。

○大学の研究活動への協力

- ・ 千葉大学の調査・研究に協力して花粉の収集活動を実施した。この活動は、弘明寺で飼育しているミツバチが、どのような種類の草花に訪れているのかについて把握することに貢献した。

○ハチミツを活用した地域の自然環境に関する普及啓発

- ・ 調査の結果、プロジェクトで飼育しているミツバチは、弘明寺の名物である大岡川沿いの桜にも訪れていることが確認された。
- ・ この調査結果を踏まえて、大岡川にごく限られた時期に咲く桜が、ミツバチによってハチミツとして実体化したものという面白さを、ほのかに桜の香りのする貴重なハチミツを通じて伝えることができた。
- ・ イベントの際には、地域の花環境に関心を持ってもらうための掲示を行ったり、植物の種を配布したりするなど、地域の植物環境維持のための活動を行った。

6 今後の活動方針

※次年度以降の目標や、活動継続のためにどう引き継いでいくのかも含めて具体的に記入してください。

※現在活動休止中の場合でも、今後の活動の見込みや方針について御記入ください。

(1) 地域への発信の充実

コロナ以前よりも価値ある取組みを目指し、地域に発信していたことについて、改めて充実させる。その際、以下の2点を大切にする。

①対面での見学を通じた発信

・小さな昆虫に関しては、実際に近くで観察することを大切にしたい。対面での見学を通して発信する。

②多様な発信ツールの活用

・地域の自然環境の豊かさについては、WEBやSNS、オンラインなど、多様な発信ツールを活用する。

(2) 活動継続にあたっての方針

活動を継続していくために、以下の視点を大切にする。

①誰もが、初心者であること。

養蜂活動を通じて、世代や所属などを超えてつながることができる場所であることを大切に、活動の継続を目指していく。

②地域の名産を創出すること。

採れたハチミツは、100%地域産であり、これを地域の技で形にすることで、この街でしかできない名産をつくることができる。

このため、地域の名産づくりに取り組み、地域の様々な組織をつなぐとともに、持続可能な活動のためのスキームを確立する。

③あなたの（半径2kmに暮らす方の）育てる一輪が産地であること

ミツバチはこの街の花からハチミツを集める。街に咲く季節の花々は、取り組みで採れたハチミツで、季節ごとに違った味わいを楽しむことができる

地域の方々がハチミツづくりを担う一員であると同時に、一人ひとりが環境づくりの担い手であることを、地域の名産を通じて知って頂き、自然の恵みを楽しみながら環境を豊かにする活動にしていく。

(3) 活動内容の継承にあたっての方針

活動を引き継いでいくために、以下の視点を大切にする。

①児童生徒の学びの場、コミュニケーションの場であること

中学校、高校では、部活動はあれども、地域貢献、地域活動について時間をかけて行うことができる受け皿は多くない。

小学校からの経験で、虫が好き、地域の人が好き、人に何かを伝えることが好き、いろいろな年齢の仲間を作りたいというニーズに応えられる場であることを伝えていく。

7 審査にあたり、最も注目してもらいたい取組、PRポイント

【例】

- 最も注目してもらい・評価してもらいたい取組
- 一番成果があがっていると思う取組
- 他の団体と異なる自分たちの強み・独自性
- 取組の過程で、どのような努力・苦勞があったか など

最も注目してもらいたいこと＝生徒が主体となった取組

- ・養蜂を通して地域の自然環境を見つめたり、まちづくりを行ったりする主旨の活動は、知名度の高い銀座のプロジェクトなど、各地に様々な活動があるが、生徒がミツバチの飼育から発信までに携わっている活動はこれまで聞いたことがない。若き担い手たちが、自然環境の面白さを発信することで、大人があらためて自分の地域に目を向けられるという活動の効果は非常に高いと考えられる。
- ・特に、ミツバチを飼育する内検活動では、専門家も驚くほどの知識を吸収している生徒もいる。また、ICT ツールを使いこなして発信をしたり、チラシや、蜂蜜の瓶につけるラベルを創作したり、LINE スタンプを制作したりする場面では、大人にはない発想で活動を進める様子がある。
- ・従来の「児童・生徒」による環境に対する取組みとしては、学校の授業や、部活など、学校教育が母体となった取組みが見られていたが、規模は小さいながらも、生徒の発想が活かされている活動ということが大きな特徴である。
- ・小中学校で、本当に「地域との関わり」に魅力を感じて取り組んでいた子どもたちが、継続的に「まちづくり」や「仲間と面白いことを目指して発想していく」ことができるような場が、もっと、横浜に増えてほしい。そういったまちの中の生徒の居場所としては、一つのヒントになる活動なのではないかと考える。

〈資料 1〉

実際に生徒（当時中学校 2 年生）がオフィシャルホームページ上で発信したことから



2019/04/06 養蜂体験

満開の桜🌸の下では、今日も多くの花見客で賑わっています。

ミツバチたちの桜の蜜集めもピークです。

さて、Bee ぐみの活動がこの度、「広報よこはま南区版 4月号」に取り上げられました！📰

4月6日の活動では、「広報よこはま南区版 4月号」を見てくださった方など

3名が見学にいっしょにいました。

そして内検※を体験していただき、感想を伺いました。



🐝20年ほど前に一度、養蜂を見学したこともあり、ミツバチは怖くなかった。

内検をしながら、様々なことを知れて、楽しかった。

🐝内検を実際に見るのは初めてだったが、恐怖心を抱くことなく見学できた。

養蜂を生で見る機会はなかなか無く、楽しかった。

🐝ミツバチたちを見ているうちに、首付近のふさふさしているところなど、

可愛いと感じるようになった。



このようにいずれも、楽しかったという感想が多く、

ミツバチの魅力が伝わり嬉しかったです😊

毎週土曜日午前 10 時から活動しています。

どなたでも参加できるので、興味のある方はぜひお越しください！

〈以上、生徒による発信（当時の内容そのまま）〉

以下、活動の様子の写真を追加（bee ぐみインスタグラムより）



※内検：巣箱内検査のこと。主に、女王バチの生存確認、働き蜂の健康状態の確認、王台（新たな女王蜂のさなぎ）の除去、卵、さなぎの確認、蜂蜜の量の確認などを行う。刺される危険性は少ないが、防護服を着用し安全に作業を行う。

〈資料 2〉

実際に生徒（当時中学校 2 年生）がオフィシャルホームページ上で発信したことから

2019/05/07 平成最後の桜はちみつ

4 月を過ぎ、暑い日も増えてきました。

5 月 6 日は、二十四節季で「立夏」だそうです。

もうすぐ夏が訪れますね。

さて、今年の桜はちみつ、ついに収穫しました!!

食べた方の感想は……👍

🌸 瓶を開けた途端に広がる桜の匂いがとても良いです。口に入れると、さらに爽やかに広がり、おいしかったです。

🌸 クセのない、春を感じるやさしい甘みでした。鼻へ抜ける香りがマスカットを思わせ、とてもおいしかったです。

この時期しか採れない桜はちみつならではの感想ですね!



遠心分離器から流れる出るはちみつを濾し器で濾しています。

採れたてのはちみつ🌸

平成最後の桜はちみつですね🌸

この桜はちみつを皆さんに味わってもらうためのイベントを企画中です😊

〈資料3〉

実際に生徒（当時中学校2年生）がオフィシャルホームページ上で発信したことから

2019/6/15 ★Bee ぐみハチミツ販売スタート@横濱ミルク町っ子★
ついに!!

Bee ぐみハチミツの販売がスタート!

初日はあいにくの雨でしたが、Bee ぐみメンバーが集まり、ディスプレイを完成させました。
ハチミツと合わせて、ポップやパンフレットもぜひご覧ください。

～Bee ぐみハチミツの特徴は?～

【100%弘明寺産!】

巣箱から半径2km以内の花から採れます。皆さんのお庭の花からできているかも?

【加熱などの加工を一切していない!】

安心安全の無添加ハチミツです!

【季節ごとに変わる風味を楽しめる!】

蜜源となる花によって味、香りが異なります。

※ハチミツは一歳未満のお子さまには与えないでください



販売にご協力いただいている横濱ミルク町っ子さんでは材料から製法までこだわったプリンやアイスなどを販売しています。

店頭の一角に、Bee ぐみハチミツの販売スペースを作らせていただきました。

(令和元年度のみ 販売についてはR2年度から休止中)

〈資料 4〉

実際に生徒（当時中学校 2 年生）がオフィシャルホームページ上で発信したことから

2019/7/20 Bee ぐみイベント 開催しました!!

7 月もついに終わりに近づき、やっと夏らしくなってきました。

こんな暑いなかでも蜜集めに励むミツバチ🐝たちを見ると、自分も奮い立たせられます。



さて、7 月 20 日、弘明寺商店街でのイベントが無事開催されました。

暑い中、お越しくくださった皆さま、ありがとうございました！

楽しんでいただけましたか😊

私たちも、興味を持ってくださった方とお話をするなど、地域の皆さんとふれあうことができ、良い機会になりました🍯



7 月最後の活動も猛暑の中行われました🌞

防護服がさらに暑さを増し🐝

大変ですが、頑張っています！



〈資料 5〉

実際に生徒（当時中学校 2 年生）がオフィシャルホームページ上で発信したことから

2019. 11 秋のイベント 賑わいました！！

今回は、初の午後&観音橋での開催で

多くの方が足を止めてくださいました☀

弘明寺で蜂を飼育していることに興味を持ってくださる方。

花の香り漂う Bee ぐみはちみつを笑顔で味わってくださる方。

みなさんからの温かい言葉は、私たちの活動の力の源になります😊

チラシもたくさん受け取っていただきありがとうございました！



〈資料 6〉

実際に生徒（当時中学校 2 年生）がオフィシャルホームページ上で発信したことから

11 月 17 日(日)には地域の収穫祭に出店しました！
今回は温かい飲み物、はちみつレモンも販売しました 🍋

爽やかな甘みを味わっていただけたのではないかと思います。

心も身体も温まる人気の品となりました 😊

瓶詰め体験は今回も賑わい、たくさんの方が体験してくださいました！

お越しいただいた皆様、ありがとうございました！



今年も残すところあと二ヶ月、ミツバチと共に頑張りましょう!! 🐝

はちみつレモンはお家でも簡単に作れます。

寒い季節にはホットでいかがですか？

Bee ぐみはちみつで作るホットはちみつレモンは

花の香りが楽しめますよ 🌸

資料7 リーフレット 実際は両面刷りの三つ折りです(当時中学校2年生徒が作成)

Beeぐみ

Project



beegumi.com

4. 「BeeぐみProject」の活動内容

中学生になって、再結成した、大岡小卒業生。今までは、クラスで活動してきましたが、これからは地域のみなさんと、取り組んでいきたいです!

毎週土曜日午前10時からクリエイティブで活動しています。

実際に、ミツバチのお世話をしたりもしますが、巣箱のメンテナンス、イベントの企画などやっています!

ぜひ参加してみてください!

1. ミツバチのこと

ミツバチは、仲間にダンスをして花の位置を知らせる、賢い虫です。ですがミツバチは一度針を刺すと死ぬでしょう。弱点があります。でも仲間を守るために針を刺す、勇敢な生き物です。

私は、これらを知って、ミツバチが一生懸命生きていくと分かりました。



花の位置が分かる ↔ ハの字ダンス

2. ハチミツのこと

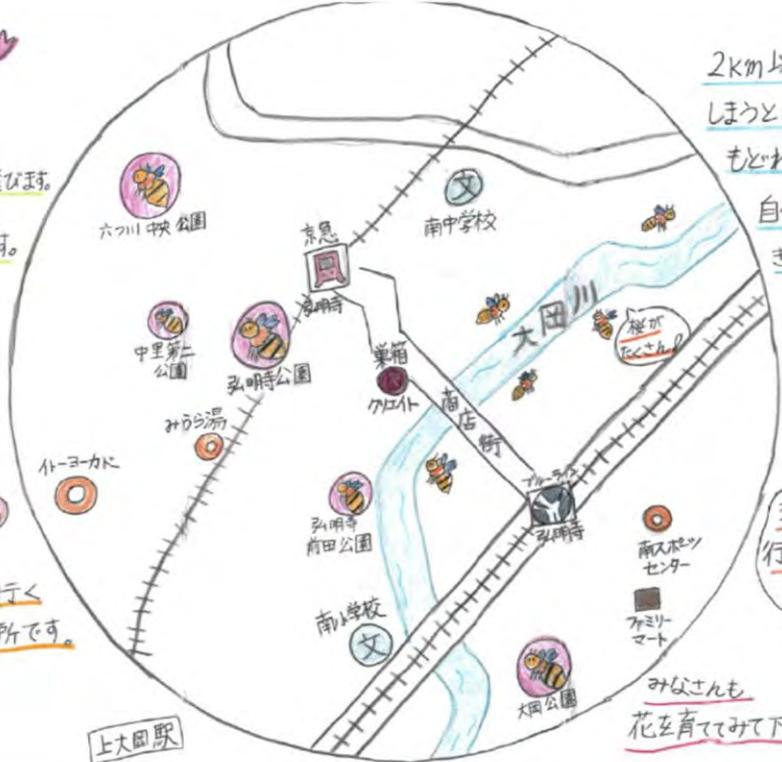
ハチミツは、大きく分けて二種類あります。1つ目は「百花蜜」という蜂蜜です。百花蜜は色々な花の蜜が集まって出来る蜜です。

2つ目は、桜蜂蜜など、1つの花から出来た蜂蜜です。その花の風味が出る蜜です。

3. 地図

ミツバチ達は、半径2kmまで飛びます。それがこの地図です。

ミツバチマークは、花があり、ミツバチ達が花の蜜をとりに行く場所です。



2km以上飛んでしまうと、つかれて、もどれなくなります。

自分が飛べる距離を分かっていると、賢いと思いました。

季節によって、行く場所も変わるね!

みなさんも花を育てて下さい!

資料 8 英語版リーフレット 実際は両面刷り三つ折りです

Bee ぐみ

Project



beegumi.com

Bee gumi project

Local junior high school students work together every Saturday.

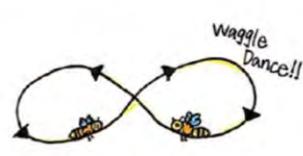
We work on the roof of the building in Gumyoji from 10:00 a.m.

We keep bees and hold some events.

Bees

~Smart Bees~
Bees dance for their family to tell the location of flowers

~Breve Bees~
Bees sting enemies to protect their family. However, they can sting only once. Also, after they sting, they die. We believe that bees do their best every day.



Waggle Dance!!

Join us!!

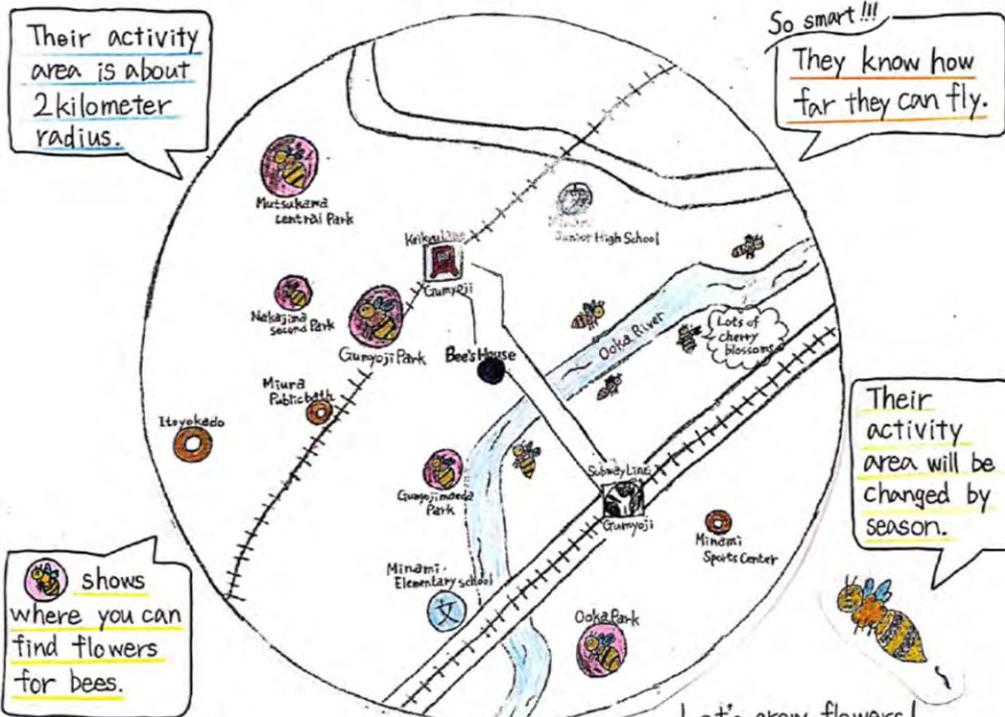


Honey

There are two types of honey.

~Mixed Flower Honey (Hyakka Honey)~
Bees collect nectar of various flowers.

~Single Flower Honey~
This is honey made from only one kind of flower. You can enjoy the flavor of the flower.



Their activity area is about 2 kilometer radius.

So smart!!!
They know how far they can fly.

shows where you can find flowers for bees.

Their activity area will be changed by season.

Let's grow flowers!



〈資料 9〉

他団体が主催するイベントへの参加・賛助



〈資料 10〉

実際に生徒（現在高等学校 1 年生）がオフィシャルホームページ上で発信したことから

継続的な常時活動の様子

蜜蜂元気です

色々なところで、綺麗に咲くアジサイを見かけます。

いよいよ梅雨、という感じですね🌧️

6/5 の活動では天気に恵まれ、いいお天気☀️の下で内検・採蜜を行いました。

採蜜では、毎週のように数kgのハチミツを採ることができています🍯

流れ出るハチミツを毎週拝められるのは Bee ぐみメンバーの特権です😌

内検ではミツバチたちが、毎週元気に顔を見せてくれます🐝

巣箱パンパンにミツバチたちが動き回っていました。

これからますます暑くなっていきますので、水分補給を欠かさずに！🥤



〈資料 11〉 常時内検活動の様子

